

[専門教育科目/看護の統合と発展]

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
看護マネジメント論	NSP44_002	選択	1	4	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
堀口 まり子	408	mariko.horiguchi	振り返り用紙及び授業中の Teams による質問等の受付		
授業の目的・概要	より質の高い看護サービスを提供するために看護管理者の役割である「医療と看護の質の保証」「人的資源管理」「効率性の追求」を中心に、諸理論をもとに具体例を提示しながら看護管理について理解を深める。特に、看護の質に大きく関わる看護職員のキャリア開発について、学生自身のキャリアプランを検討しつつ考える機会とするなど、看護を円滑に実践するための基本的なマネジメント能力の習得をめざす。 双方向型授業で、看護マネジメントの事例を展開する中で、臨床で行われているマネジメントの理解を深める。				
学習上の助言	事前学習：これまで学習した社会保障論、保健医療福祉行政論、看護と関係法規および看護倫理等専門教育関連科目および実習での学びを整理して受講すること。事前課題を提示する。 事後学習：毎回授業で学んだことをリアクションペーパーにまとめ自分の学びを整理すること。				
教科書	系統看護学講座 統合分野 看護の統合と実践 [1] 看護管理 / 著:上泉和子 / 医学書院 / 2020年				
参考書	<ul style="list-style-type: none"> 看護サービス管理 / 編:小山智子 他 / 医学書院 / 2018年 看護法令要覧 / 勝又浜子 他 / 日本看護協会出版会 系統看護学講座 看護関係法令集 / 医学書院 これまで学習した関連科目のテキスト				
① 経営と管理に関わる諸理論の概要を説明できる。			関連卒業認定・学位授与方針		
② 保健医療福祉の現状とその環境の中における看護の役割を説明できる。			HSU(2)、NS(1)		
③ 看護の質保証とその評価の意味と方法を説明できる。			HSU(2)、NS(4)		
④ 多職種連携の意義を説明できる。			HSU(2)、NS(3)(4)		
⑤ 多職種連携が効果的に機能するための条件と看護の役割を説明できる。			HSU(2)、NS(3)(4)		
⑥ 我が国における保健医療福祉制度の現状をふまえた、望ましいマネジメントについて語ることができる。			HSU(2)(5)、NS(1)(5)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	事前学習内容・必要時間 (時間)		
1	1.経営と管理に関わる諸理論の概要について① (看護サービスマネジメント概説、経営と管理に関わる諸理論とその変遷、組織論の基礎)	印刷教材とメールによる質疑応答での双方向型授業	事前：あなたが考える「このような加算があるよ」という診療報酬について整理する。		
2	1.経営と管理に関わる諸理論の概要について② 2.看護の質保証とその評価 (病院経営における看護マネジメントの役割、看護の質保証とその評価、看護と医療安全)	印刷教材とメールによる質疑応答での双方向型授業	事前：看護の質保証にはどのような方法・内容があるか、整理する。		
3	3.看護職者のキャリア開発について① (人的資源管理の基礎理論、看護における人的資源と育成、看護職のキャリア開発)	印刷教材とメールによる質疑応答での双方向型授業	事前：看護職のキャリア開発自身のキャリアプランについて整理する。		
4	4.看護チームおよび多職種間の連携と看護職の役割① (リーダーシップにかかわる諸理論の検討、チームの考え方とリーダーシップ・メンバーシップ、チームで担う医療と看護マネジメント、看護を取り巻く多職種と連携)	印刷教材とメールによる質疑応答での双方向型授業	事前：看護ケア提供方式について特徴、利点・欠点を整理する。		
5	4.看護チームおよび多職種間の連携と看護職の役割② (多職種連携を促進する)	印刷教材とメールによる質疑応答での双方向型授業	事前：臨床でのコミュニケーションについて整理する。		
6	5.看護者の人事管理実際(人材育成)について (看護部委員会、目標管理、教育、スタッフへの支援、病院機能評価のプロセスとその効果、病院と地域との連携)	印刷教材とメールによる質疑応答での双方向型授業	事前：臨床での人材育成について整理する。		
7	6.職場環境の管理(把握・調整)の実際について (安全管理、業務管理、業務量の把握)	同時双方向型授業	事前：臨床での医療事故の実際や業務内容をについて整理する。		
8	7.看護管理における情報の活用と管理の実際 (看護者の基本的責務、看護記録、情報活用と開示) 8.まとめ	同時双方向型授業	事前：臨床での看護記録や情報の管理について整理する。		
試	達成度評価・評価のポイント参照				

[専門教育科目/看護の統合と発展]

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	100	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	0	40	0	0	0	40
	思考・推論・創造する力	0	30	0	0	0	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
		0	30	0	0	0	30
		評価のポイント					フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓					毎回の授業での課題および最終レポートにより、授業内容の理解およびテーマに対する学生自身の考え方が明確に表現されているかを評価する。(課題レポート40%、最終レポート60%)
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
担当教員：堀口まり子							
教員の実務経験 ：看護師として40年の臨床経験 実践的授業の内容 ：実務経験のある教員の指導のもと、看護マネジメントの基本的な知識について理解を深める。教員の経験から実践事例を取り上げ、教科書と比較しながら学習する。							
<ul style="list-style-type: none"> 印刷教材とメールによる質疑応答での授業と Microsoft Teams を使用した同時双方向型授業を用いて実施します。同時双方向型授業時は、通信環境の良い場所で授業をうけるよう留意してください。通信量削減のため、学生はビデオ機能を基本的に使用しないように留意してください。 新型コロナウイルス感染症による影響などの社会情勢により再度シラバスの変更があることも考えられますが、その際には随時お知らせします。 							